



苦しみから
逃げていると
いつまでも苦しみは
追いかけてくる

四季彩々

NO.28 2009年 9月号 隔月発行
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
岐阜市美江寺町2-1教育会館内 TEL 058-266-0184
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250

新しい仲間の紹介

7月と8月の加入者です。今回は22人です。

支部 岐阜	湯上芳美 山田雄三 梶田朋子 鈴木麻智子
各務原	荒木容子
西濃	樋口ルリ子
関	西増洋一
加茂	丸山こう
可児	高橋万亀子 濱島静波
土岐	岩本秀男 加藤勝真 三宅勝義 中嶋勝男 岩田清隆 井上時光 日比野幸児 伊藤昭八 山本 登 杉山 通 兼松歌子 村瀬歌子
中津川	ここは前回の未掲載の人たちです

(片田悦子 曾我克子 中根 繁 濱島高雄)

2000人
仲間づくり
あと33人です

どうか
仲よくしてね



春の月間目標達成！さらに県目標2000人の1割へ 土岐支部仲間づくり 目標達成

自主目標200人達成

土岐支部は、春の月間目標188人を6月に達成。

さらに自主目標の2000人の仲間づくりにも成功しました。

昨年秋から毎月仲間を増やしています。1月以来、約40人を増やしたことになります。

その取り組みを紹介します。

一 目標の設定について

県目標2000人の1割にあたる200人の仲間づくりを目指しました。



山本 紘司さん

昨年「2000名山登頂達成」された水野孝生支部長にちなみでの設定もありました。

二 推進委員と推進ニュースで

独自に女性7人による「仲間づくり推進委員会」を立ち上げたことが、大きな成果になりました。

推進委員の一人、横のつながりが多い河野さんは、1月以来15人の仲間を増やし、執行部を元気づけてくれました。

推進委員会という会を開くわけではなく、「推進ニュース」を4号まで発行しました。推進委員の奮闘に刺激され、役員も頑張りました。

この結果、2分会が50人を超え、大所帯となりました。

三 「おくりびと」上映と分会行事

8月までに、自主目標を達成しましたが、11月の結成20周年記念集会に向けて、さらに新しい仲間を迎えたいと思います。

四 増やさなければ減る

「増やさなければ減る」のが、年金者組合の宿命です。

毎月の仲間増やしを続ける決意です。

実生活と句画

赤松 柳史(俳画家)

実生活を超越したところに

俳句があり 俳画がある

世をも心をも忘れたところに

会心の画なり句がある

実生活に不必要なとき詩画に

実生活に欠くべからざるものあり

多忙をなぐさめ

次第に心眼を開く

高齢者のつとめ

高齢者の祭典の日として歩み出します。
カネのかかる医療制度・安心できない年金制度
政権交代の中で、私たちの声の実現のために
岐阜県の高齢者と、これに関わる団体や個人の方々の
連帯の集まりに、ご参加ください。

10月10日(土)に会いましょう

13:30(開会)~16:30(終了)

場所 ワークプラザ岐阜 5F

うたごえ・開会
支部・個人の楽しい出し物
高齢者の生活報告
高齢者医療介護の実情報告

市内パレード(プラカードご持参下さい)
(金宝町通一神田6交差点一長良橋通一岐阜駅)

大本営と国民

戦時中の話

郡上支部 河田 敬一郎

戦時中、海軍省記者クラブに
新名丈夫と云う方がいた。

1944年4月、米軍がマー
シャル群島のクエゼンルオッ
ト島に上陸、守備隊65800
人が玉砕。

大本営は大騒ぎになった。

新聞には「必勝の道拓かん。皇
国存亡の危機に立つ」の見出し
が躍った。毎日新聞に「竹やり
では戦えぬ、存亡を決するもの
は航空機だ」の記事が片すみに
載った。

激怒したのは東条首相(陸相、
軍需相、参謀総長兼任)である。
記事を書いた新名を軍隊に招集、
外地に送るよう命令を出した。

海軍は兵役免除になっている
記者をどうして一人だけ入隊さ
せるのか陸軍に強く抗議し、陸
軍と交渉した。

つじつまの合わない陸軍は新名
と同年代の250人を四国から
招集。全員硫黄島に送られ一人
残らず玉砕した。

新名を懲罰にしようとした陸軍
の善き添えになった250人、
鬼畜のごとき棄民であった。

新名は極秘に海軍の配慮で報
道班員としてのフィリピンに
派遣され、日本を離れ、硫黄島
への島送りを受けた。

彼は戦後、論説委員、評論家
として活躍、石川達三の「風に
そよぐ蓮」のモデルにもなって
いる。

玉砕し玉が美しく砕けるように、
名譽や忠義を重んじて、いさぎよ
く死ぬこと……だまされること？

電車の車窓からはビル
の壁が次から次へと、
まわって流れて、味
気ない時、広々とした
田園と遠く山脈の風
景が見え来るとホッと
します。近くの電柱や稲
は急いで過ぎ去るが、遠く
の田園、山は、ゆっくり過
ぎ去る。遠く山を中心に
大地は平たく回転している
ように見える。錯覚です▼
自分はいま変わっている
の、わが子が大人に、
近所の子が勝手に娘になっ
て、親せきや知り合いは、
知らぬ間に年を重ねて死を
迎える人が増えている。もっ
と外側を見ると、ハエが飛
びまわっている。暮らしから
高度成長、バブル崩壊、そ
して世界不況に弱い者いじ
めの政治。やっとな政権交代。
変化は大きい。おいらの変
化は小さく、周りが勝手に
早く回転しているように見
える。ポロっとしていると
振り回されてしまう、錯覚
かな。▼自民党に期待もせ
ず、同情して投票した人が
います。金銭的にギリギリ
の生活をしている人です。
その人を苦しめてきた政党
なのに！錯覚はお人好しに
なります▼錯覚、ウソがた
だよっている日本です。こ
れを見破り、振り回されな
いために自分は、どうして
きたか。だまされる人生に
したくないと思ってきた。
チップボケな自分の人生だか
らこそ残りの人生を大事に
したいという欲を出してき
た▼それだけでいいのだから
うか。個人の力は小さい。
だから共同、連帯の力が必
要だと思う。

